

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2022年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習について

練習は係員の指示により下記によって実施する。

- (1) 競技場の外周及び競技場内の競技に支障をきたさない場所において練習すること。競技場内での練習は、その日に競技がある選手のみとする。
- (2) フィールド競技については、競技開始直前に審判員の指示に従うこと。
- (3) 室内走路の使用を禁止する。

3. 招集及び入退場について

招集所は第1ゲート外側（100mスタート後方）に設置する。ただし、棒高跳競技の招集は跳躍場で行う。

- (1) 招集時刻は競技開始時刻を基準として下記の通りとする。
トラック競技は15分前を招集完了とする。ただし、組数の多い予選種目は時間差を設けて招集を行う。詳しくはプログラムの競技日程で確認すること。
フィールド競技は40分前を招集完了とする。
リレーのオーダー用紙は、招集所で配布する。各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。
- (2) 招集手順
 - ① 招集開始時刻から完了時刻までの間に招集所で、競技役員にアスリートビブスとシューズ（スパイク）、衣類及び競技場内への持ち込み物品等の確認を受ける。代理人による最終点呼は認めない。（800m以上のトラック種目は、腰ナンバー標識を受け取る）トラック競技で使用するシューズのソールの厚さを確認する。（TR5）
 - ② 最終点呼後、各自でトラックはスタート地点、フィールドはピットに移動する。
- (3) 招集の注意事項
 - ① 出場すべき競技種目を欠場する場合は、招集完了時刻前までに招集所の競技者係に届けを提出する。
 - ② 招集完了時刻に遅れたり、競技者係からのチェックを受けなかった場合、その競技者は欠場したものとして処理される。

4. アスリートビブスについて

各競技者は、プログラムに記載された番号と同じアスリートビブス（24cm×16cm以内）を、ユニフォームの胸部と背部につける。

- (1) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか片方でもよい。
- (2) 4×400R（第2・3・4走者）と800m以上の中・長距離の競技に出場する競技者は腰ナンバー標識をパンツの右側後方につける。腰ナンバー標識は招集所で配布する。

5. 競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることはできない。フィールド競技はコーチングエリアを設ける。競技者とコーチがコミュニケーションをとる場合のみとするので、エリア内に常駐しないこと。
- (3) 競技者がレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の電子機器を競技場内に持ち込んだり使用したりすることはできない。（TR6.3.2）
また、競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他の類似の機器を使用する場合は、他者との通信が使用不可能なものに限る。（TR6.4.4）
- (4) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッ

シュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の妨害をしない。

(5) フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。

(6) 各レースで不正スタートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。スタートの合図については英語で行う。

6. 走高跳、棒高跳決勝におけるバーの上げ方について

種目	性別	競技	練習
走高跳	男	1m75 - 80 - 85 - 88 - 91 - 94 以降も 3 cm 刻み	1m70 1m90
	女	1m45 - 50 - 53 - 56 - 59 - 62 以降も 3 cm 刻み	1m40 1m55
棒高跳	男	2m10 - 20 - 30 - 40 - 50 - 60 以降も 10 cm 刻み	2m00 2m80 3m50 4m20
	女	競技役員の指示で行う	

(1) 天候その他の関係で変更することがある。

(2) 第1位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で 2 cm、棒高跳で 5 cm 刻みとする。

(3) 競技場設置の滑り止め（炭酸マグネシウム）は、感染防止のため共用しないので、必要な競技者は、各自で準備すること。

7. スパイク（シューズ）の制限について

本競技場におけるスパイクピンの数は 1 1 本以内とする。また、スパイクピンの長さは 9 mm 以内とする。ただし、走高跳については、1 2 mm 以内とし先端の直径は 4 mm 以内でなければならない。(TR5.3、 TR5.4、 TR5.5、 TR5.6)

フィールド競技用シューズの WA 規則第 1 4 5 条 (TR5.5) 適用除外措置については、日本陸連の移行措置に則り競技を実施する。ただし、砲丸投に関してはスローイングシューズ以外のシューズの使用を認める。

8. 競技用器具について

競技者が本大会で使用する器具は、棒高跳競技のポールを除いては、全て主催者の用意したものでなければならない。ただし、ハンマーを除く投擲用器具については検定を合格したものに限り使用することができる。検定は、競技開始 1 時間前までに器具庫にて行うこと。

9. 抗議について

(1) 競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の正式通告後 3 0 分以内に競技者自身もしくは代理人が審判長に対して口頭で申し出なければならない。

(2) 次のラウンドが行われる競技種目ではその結果が正式に通告されてから 1 5 分以内に申し出なければならない。

(3) 口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者に代わる責任者（顧問または監督）が、文書と預託金 1 0, 0 0 0 円を添えて本大会総務へ正式な抗議の手続きをとる。尚、この預託金は、抗議が認められないときには没収される。

10. 表彰について

各種目の 3 位までの入賞者に賞状を授与する。

11. 一般注意事項について

(1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡する。ただし、競技場での疾病・傷病等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。

(2) 競技場内に、横断幕およびノボリ旗等を取り付ける場合は、スタンド周囲最前部以外に取り付けること。

(3) ゴミは各チーム毎にゴミ袋等を利用して管理し毎日終了時に持ち帰ること。